二瀬窯業株式会社

C モルポリマー を用いる断面修復左官工法

（鉄筋露出部、中性化抑制）

【施工フロー】

はつり・鉄筋ケレン

↓

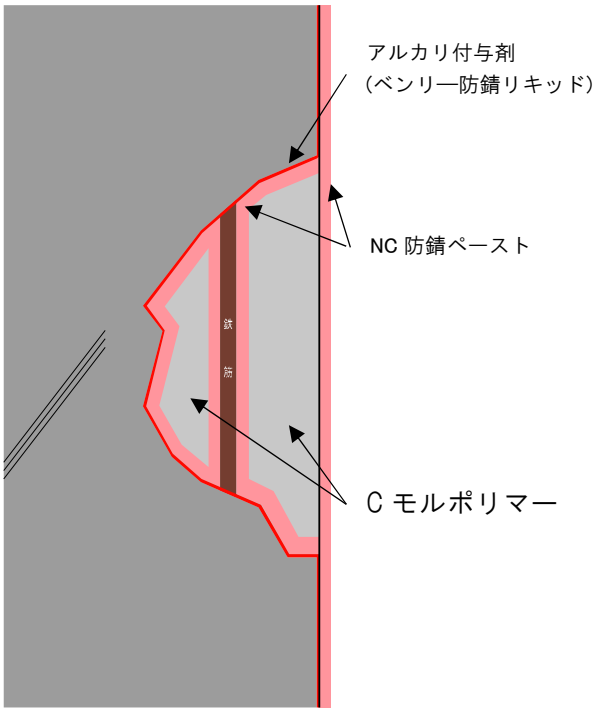
鉄筋防錆処理

↓

断面修復左官工法

↓

養生



【施工断面図】

【施工条件】

・施工は施工部周囲の雰囲気温度が 5℃以上で行ってください。施工時の気温が 5℃を下回る場合および施工後 4 時間以内に 0℃を下回ると予想される場合は、施工を中止するか、ジェットヒーターなどで施工部周囲の雰囲気温度を上げた状態を保って施工し、施工後も 4 時間以上保ってください。ただし、施工面を直接加熱しないでください。また、雰囲気温度を上げ過ぎるとヒーター等の停止後の温度落差によってひび割れが生じる恐れがありますので、温度の上げ過ぎにはご注意ください。

・施工面に直射日光や降雨,強風などが当たらないよう、シート掛けなどで防護してください。

1. はつり・鉄筋ケレン

・施工対象部のはつり、鉄筋ケレンの後、脆弱部や浮石などの不良部が残存していないか確認してください。必要に応じて再度はつりを行い、不良部分を確実に除去してください。
・水洗い清掃を行ってください。水洗いは 5MPa 程度の高圧水洗を推奨します。水洗いができない場合は、エアーコンプレッサーによる高圧エアーブローで清掃してください。飛散する粉じんは、局所排気装置での排出や集塵機で回収してください。
・水で濡れた鉄筋は布ウエスなどで水分を拭い取り、速やかに乾燥させてください。エアーコンプレッサーによる高圧エアーブローでの乾燥を推奨します。
・下地を乾燥させてください。
・必要に応じて、下地に**アルカリ付与剤（ベンリ―防錆リキッド）**を塗布してください。
ベンリ―防錆リキッドは原液を塗布してください。
ベンリ―防錆リキッド荷姿 1kg ボトル×18 本 箱入り
（1kg ボトル標準施工面積：約 0.3 kg/㎡）

※ 断面修復厚が 25 ㎜を超え、0.25 ㎡以上の場合や上裏や庇部分などの落下の危険性がある部分については、下地にステンレス製アンカーピンを固定し、ステンレスワイヤーメッシュやステンレスなまし線を取り付けて剥落防止補強を行ってください。

2. 鉄筋防錆処理

・施工部の鉄筋および下地表面に **NC 防錆ペースト**を刷毛で約 1 ㎜厚程度塗布してください。
・NC 防錆ペースト塗りつけ後、30 分以内に **C モルポリマー**で断面修復を行ってください。

【NC 防錆ペーストの配合】

	NC 防錆ペースト主材	NC 防錆ペースト混和液 A	NC 防錆ペースト混和液 B	上水道水
1 セット配合	5 kg (1 袋)	1.3 kg (1 本)	0.2 kg(1 本)	0.4～0.6 kg

箱入り 1 セット(6.5 kg) 標準施工面積：約 3.8 ㎡

【NC 防錆ペーストの練り混ぜ】

・NC 防錆ペーストの練り混ぜは、ハンドミキサーなどの機械器具を用いてください。
・容器に所定量の上水道水と専用混和液 A および B を入れ、粉体を加えながら 2～3 分間練混ぜ、ムラなく混ざっていることを確認してください。
練混ぜ後、30 分以内に使用してください。

3. 断面修復

・鉄筋および下地への NC 防錆ペースト塗りつけ後、30 分以内に **C モルポリマー**を金ゴテを用いて塗り付けてください。
・総塗厚が 10 ㎜を超える場合は、1 回の塗り厚を 7 ㎜以内として 2 回以上に分けて塗り付けてください。重ね塗りの工程間隔は、夏期 1 日以上、冬期 3 日以上としてください。
・C モルポリマーの塗り付けは、はじめに下地の凹凸に刷り込むようにしっかりこすり塗りし、追っかけて所定の厚さまで塗り付けてください。
・下塗り,中塗りの表面は金ゴテでの押えは行わず、できるだけ粗面にして養生してください。
・仕上げ塗り層の表面は、締まり具合を見計らって、金ゴテで押えてください。
・仕上げ塗りから 5 時間以上経過した後、既設コンクリートと C モルポリマーの塗り継ぎ部を心として幅 150 ㎜、塗り厚 1 ㎜で **NC 防錆ペースト**を刷毛塗りしてください。(厚付しすぎるとひび割れの生じる恐れがあります。)

【C モルポリマー標準配合】

	C モルポリマー 粉体	C モルポリマー 専用混和液	上水道水
基本配合	25kg(1 袋)	1kg(1 袋)	2.6～3.0kg
1 ㎥あたり	2000kg(80 袋)	80kg(80 袋)	208～240kg

(1 袋あたりの練り上がり量：約 0.0125 ㎥)

【C モルポリマーの練り混ぜ】

・C モルポリマーの練り混ぜは、ハンドミキサーまたはパン型モルタルミキサーを用いてください。
・C モルポリマー1 袋に対し、規定量の上水道水および専用混和液を加えて練り混ぜてください。練り混ぜ時間の目安は 2～3 分間（ハンドミキサー）、 3～5 分間（モルタルミキサー）とし、ムラなく練り混ざっていることを確認してください。
・練混ぜ後、夏期 40 分以内、冬期 60 分以内に使用してください。練り足しや、加水しての練り戻しは行わないでください。

4. 養生

・直射日光、通風や降雨に十分に注意し、必要に応じてシート養生等を行ってください。
・養生中は、振動や衝撃に十分に気を付けてください。
・仕上げなどの次工程までは、7 日以上の養生期間を設けてください。